

第3学年 学年だより



～学校・生徒・家庭をつなぐ～

滑川中学校 第3学年 学年だより 第7号

平成26年9月19日発行

3年生の底力を見せつけた体育大会

中学校最後の体育大会、マスコット制作は8月18日より、リーダーの活動は8月20日からの取組を経て当日を迎えることとなりました。マスコット係は期限の朝までギリギリ粘って制作を続けていた団もありました。どのマスコットもすばらしい出来映えとなり、体育大会を大いに華やかなものにしてくれました。

全校生徒による練習の取組期間は、昨年度と違って天候にも恵まれ、順調に練習を進めることができました。応援リーダーを中心に夏休みからアイデアを練り、練習計画を立て、時には実行委員会で意見を戦わせるなどして頑張りました。さらにすばらしいと思ったのは応援リーダーのみならず、団席の3年生が本当に上級生らしい姿で下級生をリードしたことでした。大きな声にこだわり、動きにこだわり、姿勢にこだわり、人を感動させる応援の姿でした。しかし、どの団も初めから調子よく練習から本番へとといったわけではなかったようです。だからこそ心に残ることがたくさん生まれたのではないのでしょうか。

当日も全校生徒が、競技に、応援に、係の活動に力を振り絞り、秋晴れの空のようにすがすがしい大会となりました。解団式では涙を流していた生徒も少なくありませんでした。悔いを残して応援リーダーに謝っていた生徒もいたようです。体育大会が終了した後も、3年生全員で団席のアンクルを解体しましたが、疲れているにもかかわらず、誰一人手を抜くことなく活動し、最後の最後まで3年生の底力を見せつけてくれました。保護者の皆さまのご協力、ご声援にも感謝申し上げます。

一つ一つの「中学校最後の」取組が終わっていきます。そして最も大切な「進路実現」に一刻一刻と近づいています。次は中間考査、合唱コンクール・文化祭、現実から逃げることなく強い意志をもってこれからの毎日を送ってほしいものです。みなさんの最高潮は、まだ続きます。

(学年主任 角川 誠)



体育大会閉会式の言葉より

今日の体育大会はみなさんの全力と全力がぶつかり、一生の思い出に残るような素晴らしいものとなりました。この体育大会でさらに強くなった絆と団結力で今後行われる文化祭やこれからの学校生活に十分に生かしていきましょう。そして今日まで支えてくださった先生方、熱い声援をくださった保護者、地域の皆さま、本当にありがとうございました。最後に1・2年生のみなさん、私たち3年生は今回で最後の体育大会となりましたが、スローガンにもある通り、われらの熱い絆を、この滑中の良き伝統を、来年、再来年へとぜひつなげていってください。

(生徒会副会長 山口 結生)



団体の部

総合の部	優勝	なし
競技の部	優勝	白虎
	次勝	黄鶴
応援の部	優勝	朱雀
	次勝	白虎
	努力賞	黄鶴、青龍
マスコット賞		青龍
取り組み賞		朱雀



個人の部

女子100m	1位	高岡千紘
男子100m	1位	山本樹希
女子200m	1位	川原 麗
男子200m	1位	又市侑也
800m	1位	土田茉奈
1500m	1位	石場健太

団体競技

	1位	2位	3位	4位
綱引き(3年)	白虎	黄鶴	朱雀	青龍
百足リレー	黄鶴	白虎	青龍	朱雀
騎馬戦	白虎	黄鶴	朱雀	青龍
米騒動	朱雀	白虎	青龍	黄鶴
生徒会種目 (滑中魂入れ)	黄鶴	青龍	白虎	朱雀

リレーの部

対団600mリレー(女子)	黄鶴	3年 高橋真咲・宮井美乃
対団600mリレー(男子)	白虎	3年 細岡 樹・高川恭太
対団900mリレー(男女)	青龍	3年 日野 航・高岡千紘



がんばれ！ 駅伝選手たち😊

10月4日(土)、富山県総合運動公園で行われる富山県中学校駅伝競走大会に出場するために3年生から8人の選手が選ばれました。毎日、朝早くから、授業後の放課後も一生懸命練習しています。3年生のこの時期に練習・勉強の両立は大変ではありますが、頑張ってくれることを期待しています。応援よろしくお願いします。

選手 土井野輝歩さん(2組)、土田茉奈さん(2組)、大橋光太郎さん(4組)
土肥涼さん(5組)、萩野巧稀さん(5組)、石川征典さん(6組)
石場健太さん(6組)、深井竜啓さん(6組)

※ 男子スタートは10:30、女子スタートは12:15、友好レーススタートは13:30です。





体育大会を終えて



～つなげ！ 我らの熱い絆 魅せろ！ 史上最大の滑中魂～

澄みわたる青空の下で行われた最後の体育大会はとても思い出に残るものでした。私はマスコット係として、夏休みを返上してしっかりと取り組みました。影をつけたり、補色をつかったりなど、さまざまな工夫をしました。マスコット賞はとれなかったけど、とても楽しかったです。2学期に入るとほぼ練習ばかりでした。全体練習や応援練習、特に応援練習では文字を出すタイミングを覚え、大きな声を出して頑張りました。本番では、どの団も全力でぶつかり合い、朱雀団は見事応援優勝と取り組み賞をとることができました。また、あと11点あれば、総合優勝もとれたそうです。体育大会が終われば、次は文化祭があります。クラスで団結して頑張っていきたいです。

(1組男子)

中学校生活最後の体育大会で競技優勝&応援次勝がとれてとても嬉しかったです。応援練習の時、私はリーダーとして前に出ていましたが、最初は団員があまり声を出してくれず、心が折れそうになりました。しかし、本番は何とかなって、大きな声を出してくれて良かったです。競技も団体でほとんど上位に入って、みんなが力を合わせて勝ち取った競技優勝は本当に嬉しかったです。総合優勝という目標には届きませんでしたが、とても楽しい体育大会にできて本当に良かったです。今回身につけたものを次の合唱に活かしていきたいです。

(2組女子)



僕は朱雀団の3年団責任者をやらせてもらっていて、全体練習では行進や並ぶときに団員に声をかけたり、応援練習では団員の座っている団席の前に出て人文字を教えたり、大きい声を出して団歌や応援の歌を歌ったりなどしていました。僕は人の前で大きな声で何かを言うのはとても苦手だったけれど、最初の練習の時よりもっさり声を出すことができたのでよかったです。競技などのときもしっかり声を出して応援して、団員全員が全力を出して体育大会をすることができて本当に良かったです。これからも自分の苦手なことも頑張りたいです。

(4組男子)



今回の体育大会では私は応援団長になりました。話を聞いたときから、務まるかどうかとても不安でした。夏休み中のリーダー研から活動を始めて、理想のリーダー像についてたくさんの事を考えている中で、自分はまだまだ力不足だということを知りました。全体の練習が始まったときには、指示がなかなか通らず、やっぱりこれだけの大人数をまとめるのはとても難しいのだと改めて実感しました。それでも、リーダーの中で話をしたり、リーダーの声に応えようとしてくれる人もたくさんいて、もっと頑張らないといけなそう思いました。体育大会まで準備してきた時間はとても大変だったけど、今は、本当に白虎の応援団長になれてよかったです。

(3組女子)

最後の体育大会を終えて、とても楽しかったけれど寂しいです。今までは先輩の言われたとおりに動いていればよかったけれど、いよいよ私たちが引っ張っていかないといけないんだなと実感することができました。実際に友だちがリーダーとして立派に指示を出している姿を見て、とてもカッコいいなとも思ったし、自分もできることを全力でやりたいなとも思いました。黄鶴団は2年連続総合優勝をとっていたのでプレッシャーもありました。最後の最後で総合優勝をとれなかったのは悔しかったけれど、最後はみんな大きな声を出し、競技の部では次勝をとれたのでよかったです。

(6組女子)

中学校生活最後の体育大会は悔いの残る結果で、どうしても納得できませんでした。そう感じるの、青龍団の団結力とリーダーの頑張っている姿に応えることができなかったからです。もちろん、他の団の人たちもそうなのかもしれませんが、競技優勝や応援優勝をリーダーに渡してあげられなくて申し訳ない気持ちになりました。体育大会の練習は長いようで短かったです。最初のころは全く頑張ろうとしませんが、徐々に仲間と一つになる嬉しさを感じ始め、体育大会本番は頭がクラクラするほど大きな声をあげました。これでもうおしまいなのは非常に残念ですが、次の2大イベントの一つ、合唱コンクールで今度こそ笑いたいです。(5組女子)

中学校生活最後の体育大会だったので一つ一つの競技を全力で行いました。特に印象に残っているのは綱引きと応援合戦です。綱引きで私たち3年生が一生懸命やったので悔いを残さず、笑顔で終わられました。応援合戦では、1週間練習してきたことを全て出し切れたと思います。歌の音量、人文字の美しさ、などを意識し、団員とリーダーとの心をつなげて頑張りました。総合優勝3連覇は実現できませんでしたが、今までの努力は決して無駄ではなかったと思うし、最高の思い出になりました。



(1組女子)

今年の体育大会は中学校3年間の体育大会の中で一番だと思いました。自分たちで作った演技で行うことのできる応援合戦や、団が団結して行った平常応援などとてもいいものでした。今年の黄鶴団は競技次勝のみで、総合優勝3連覇の偉業を成し遂げることはできなかったものの、後悔はありませんでした。みんなと協力して最高の体育大会になって本当に嬉しかったです。家に帰ってから応援合戦のビデオを見ました。黄鶴団が賞をとれないことに少し納得しました。規定演技は良かったものの、自由演技の文字があまりにも分かりづらい所がいくつかあったからです。でも、みんなとても一生懸命取り組んでいることがビデオからも分かったので、これで良かったのだと思います。体育大会の片づけが終わった後に、団員の友達から「ありがとう」と言われて、僕はとても嬉しかったし、やったかいがあったと思いました。今年の体育大会は本当に最高のものになったと僕は思いました。

(3組男子)

体育大会の一番の思い出は応援合戦です。始めの方は、なかなか声が出ていなかったり、パタパタを間違える人が多かったり、本番に間に合うのかなと思っていました。でも、日を重ねるごとに大きな声を出してくれる人が増え、ミスも少なくなりました。平常応援でも、団員みんなが大きな声を出し、すごく盛り上がりました。朱雀団が一つになっているなと思いました。今年の朱雀団は笑顔が絶えず、とても楽しい団で最高でした。この団で応援優勝と取り組み賞をとれて本当に嬉しいし、とても良い思い出になりました。朱雀団の応援リーダーになって本当に良かったです。

(5組女子)



体育大会は成功したと思います。練習の時に全員がまともならず、「本番大丈夫かな」や「今までせっかく頑張ってきたのに成功できなかったら…」と思って、プレッシャーを感じていました。でも、青龍団のほとんどの人が最後まで諦めずに競技をしていたのがとてもうれしかったです。仲間が頑張っているときに自分たちリーダーが「応援しよう！」と言ったら、団員みんなが応援を大きな声でしてくれて、とても良い団だと思いました。たくさんの賞はもらうことが出来なかったけれど、マスコット賞や900mリレーの賞をもらった時はとてもうれしかったです。体育大会が終わった後で、青龍団で本当によかったと思ったり、メンバーも最高だったと思っています。最後の体育大会、最高の思い出になってよかったです。

(2組男子)

今回の体育大会は中学校生活最後であり、私は今まで以上に力が入りました。特に応援練習の時は1・2年生に声を出してもらうため、3年生たちで1・2年生の後ろから大きな声を出しました。リーダーだけでなく、まわりの団員も一緒になって頑張らないと良いものはつくれないと思うし、本番だけ真面目にやるんじゃなくて、平日頃の練習から本気にならないとだめだなと改めて感じました。短い期間だったけれど、とても内容の濃い体育大会になったと思います。競技中の応援と一人一人が全力だったからとれた競技優勝と、練習の成果を発揮したからとれた応援次勝は一生の思い出になりました。次は団ではなく、クラスが一致団結して合唱コンクールでW最優秀賞を目標に頑張りたいです。

(4組女子)



今年の体育大会は、今までで一番楽しい体育大会でした。去年までは体育大会が一番嫌いな行事だったけど、今年があっという間に感じました。綱引きでは1位がとれました。応援合戦では、3年生としてみんなを引っ張れるように大きな声を出すようにしました。おかげで次勝を取ることができました。そして、競技優勝も取ることができました。去年は何も取ることができなかったの、とてもびっくりしました。でもそれは、団のみんなと力を合わせて応援したから、とることができたのかなと思いました。もう、体育大会は終わってしまったけれど、この体育大会で学んだことをこれからも生かしていきたいなと思いました。

(6組女子)